

WEBマガジン「人生×喜び マガジン」 VOL. 3

対談日：平成21年2月23日

篠村 仁美さんとお話しました



潮田 本日は、お子様と一緒に過ごしていただきましてありがとうございます。それでは早速ですが、チャネリングを受けようと思われた動機を教えてくださいませんか。

篠村 最初に受けたのは、2004年だったと思います。その頃は、保育士の仕事をしていまして、心身ともに大変疲れていました。そのためマッサージに通っていきまして、自然とヒーリングに関心を持つようになりました。そのつなかりで、チャネリングを知りました。セッションを最初に受けた頃は、ほんとうに精神的に疲れていて、仕事と恋愛に悩んでいました。そこで、潮田さんに、それらについて聞いてみよう、と思ったのです。初めのうちは半年に1度くらい、その後は、1年に1度くらいの割合でチャネリングを受けています。

潮田 篠村さんと最初にお会いしたのは、もうそんな前になるのですね。その頃は、篠村さんは独身でしたが、今は、結婚されて、お母さんにもなっておられますね。時の流れと篠村さんの変化を実感します。それで、篠村さんのチャネリングは、もう6回くらいさせていただいていますが、今、それらのセッションを振り返られて、何か感じることはありますか。

篠村 悩んでいることを、どんなに親しくても友人や親には、そんなに深くは話せないものですが、セッションでは、人には言いにくい悩みを話すことができます。悩みへの答えは、最終的には自分自身で出すものですが、そのための道しるべや、方向性を毎回のセッションで示していただけます。すると、セッションを受ける前の心は暗かったのに、帰る時には明るくなって、「ちょっとお茶して帰ろうかな」とウキウキします。いつも「行ってよかった」と思います。

潮田 そう言っていただけると、とてもうれしいです。ありがとうございます。さて、篠村さんは、今、1歳半のお子さんのお母さんですが、実際に子育てをされて、いかがですか。

篠村 そうですね。まず、私は、保育士をしていたので、子どもと関わることに慣れていたはずなのに、実際に自分の子どもを前にすると、その経験を生かす、という感じにはならないですね。やはり、仕事とは違う、と実感します。そして、特に生後すぐの頃は、自分のペースではなく赤ちゃんのペースに合わさざるをえなくて、授乳など初めてのことも多く、「お母さんって、こんなに大変なんだ」と感じました。その必死の半年が過ぎると、だんだん自分にも余裕が生まれて、子どもをかわいいと思えるようになりました。さらに、その後の半年も成長が著しいので、子どもが私に微笑んでくれたり、子どもの寝顔をながめたりすると、心からかわいい、幸せだなあと思えます。

潮田 お母さんは、最初から、お母さんではないですね。子どもが、だんだんと私をお母さんにしてくれるのですね。でも、お母さんも人間なので、時には、子どもに言いすぎたな、きつく叱りすぎたな、と反省することがあります。そんな時は、子どもに「ごめんね」と言ってあげてください。子どもは、特に母親に愛されたい、と強く願っています。それは、親子のご相談を受けると必ず感じます。お母さんは子どもをいっぱい抱っこして、時には、ごめんねを言って、親子の信頼の絆を強めてほしいですね。また、子どものおかげで夫とも本音でぶつかりあえるというか、夫と協力するしかない、という状況になれますね。そのことから、夫とも絆が深まり、家族の絆もしっかりと結ばれていきます。

篠村 よく「育児は育自」と言いますが、子どもを産んだばかりの頃の私には、その言葉は、それほどピンとはきませんでした。しかし、今は「ほんとだなあ」とつくづく感じます。また、子どもに対して「生まれてきてくれてありがとう」と言いますが、「私こそ、生まれてきてよかった」と思います。

潮田 いい言葉ですね。心に響きますね。自分が先に生まれていなければ、我が子には会えないですね。さて、それでは最後に、篠村さんの今後の夢を聞かせていただけますか。

WEBマガジン「人生×喜び マガジン」 VOL. 3

- 篠村** まずは、2人目を生みたいな、と思っています。それで、家族の絆をもっと深めたいです。そして、その後は、現在の育児の経験を生かして保育の仕事をしたいと思います。また、それと合わせて、これまで勉強し、仕事をしてきたアロマセラピーも、新たに仕事として取り組みたいと考えています。何らかの形で、それらを融合したいと思います。
- 潮田** 親と子の関係は、他の誰よりも密接で濃い人間同士の関わりを学べます。子育てを経験することは、仕事でも欠かせない人間関係にとっても良い影響をもたらせます。小さい子どもがいて、なかなか自由な時間がなかったり、仕事を持ってなかったりと思うようにならない現実がありますが、その経験は、その後の人生に必ず活かされます。また、子どもがいるという制約があるからこそ、自分の将来をしっかりと考えられるということもあるでしょう。どうぞ今を楽しんで、焦ることなく希望の未来を描き続けてください。今日は、ありがとうございました。



1歳半の陽向(ひなた)ちゃんと一緒に。

篠村 仁美(しのむら ひとみ)さんプロフィール

《生年月日》1972年11月1日生まれ 36歳

《家族構成》夫・息子(1歳6ヶ月)

《学歴・職歴》横浜の保育科の短大を卒業後、幼稚園に就職。

6年勤務の後、保育園に転職。5年勤務の後、長年の保育士の仕事で心身共に疲れきっていたところ、アロマセラピーに癒されて、アロマを仕事にしてみたいと思い、保育士を辞めて半年間アロマセラピーの資格を取るため学校に通う。

その後、社団法人アロマ環境協会のインストラクター、アロマセラピストの資格を取得し、結婚と同時にアロマセラピーショップ&トリートメントサロンに就職。妊娠8ヶ月迄1年半の間サロンに勤め、出産後から現在は、専業主婦をしています。

今は1歳6ヶ月のワンパクで元気いっぱいの子息の子育てに日々奮闘中です！



潮田 圭子(うしおだけいこ)プロフィール

マーケティング・リサーチ会社、メガネ製造会社、携帯電話会社カスタマーサービス部門、資格取得予備校でのCS調査実施等を経て、2001年から、チャネリングを通して人々の様々な人生相談を受けている。家庭では、高1の娘と中1の息子の母。

T&Kオフィスホームページ

ホームページアドレス <http://www.tk-office.co.jp/>